

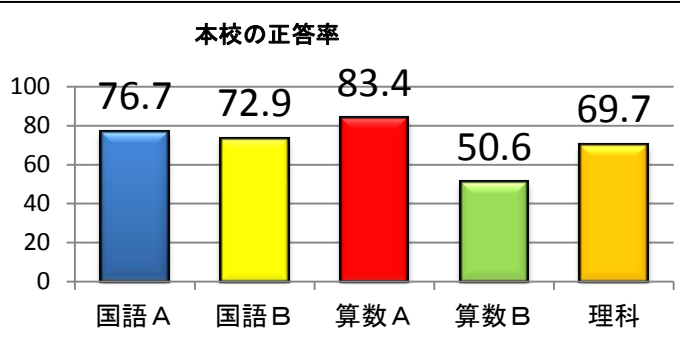
Dear our partners.
ともに
Dear our partners.

【校訓】
やさしく
かしこく
すこやかに
平成27年9月29日
第20号
天草市立久玉小学校
学校通信
編集代表
校長 本田勝則

久玉小のすべての保護者の皆様と一緒に考えたい!

全国学力・学習状況調査の結果から見えてきたこと

八月二十五日に全国学力・学習状況調査（六年）の結果が公表されました。少し、久玉小の状況を考えてみたいと思います。
まずは、グラフ「久玉小の正答率」をご覧ください。
全国平均、県平均は、文科省HPに掲載されているのを見ていただきたいのですが、久玉小六年生は、その数値を大きく上回っています。（例えば算数Bの全国平均は45.0）
なおこの調査には質問紙調査という子どもの日常生活の調査も行っています。その結果とあわせて、考えていきたいと思っています。



久玉小六年生の数値が高かった項目

- ①朝食を毎朝食べる割合が高い。
- ②毎日同じ時間に起きるまたは寝る割合が高い。
- ③自分にはよいところがあると思ってい割合が高い。
- ④将来の夢や目標を持っている。
- ⑤家で学校の宿題をする割合が高い。
- ⑥人の役に立つ人間になりたいと思う割合が高い。

結果を見ると、久玉小の六年生が、とてもがんばった、ということがわかりただけだと思います。付け加えると、それぞれの教科の各領域、観点、すべてにおいて全国平均を上回っています。よく頑張っています。きつと毎日の勉強をきちんとやっただけだと思えます。しかし「はい、よかったね」では何も残りません。そこで少し分析をしていきたいと思います。
【六年生の日常の様子】
学校をリードする六年生です。その様子は運動会等で垣間見られたことがあるかと思えます。六年生にできていて、一五年生にできるようになってほしいということはもちろん多くあります。それが発達段階なのですが、質問紙調査の中に、家庭で、学校で、少し気をつけてあげれば、声をかけてあげれば、一五年生もできるようなことがありましたので紹介します。

だれの言葉でしょう？

夢を見るのは簡単です。大事なのは、夢を実現させるための目標を持つこと、そして、その目標をひとつひとつクリアすること。その先に夢があるんだと思います。つまり、ここに書いてあるとおりです。「夢」を「目標」にチェンジしていく必要があります。どうしたら「夢」が実現できるか、ということをお話し合う必要があるということです。
（答えはこの通信の左下です）

今回は、私の解説は必要ですね。学校通信第2号で「親子で夢を語る」と学力が高くなる」というテーマを示しました。その解説に、「夢」を目標に切り替えてあげないと学力が伸びなくなる、と書いていました。
つまり、ここに書いてあるとおりです。「夢」を「目標」にチェンジしていく必要があります。どうしたら「夢」が実現できるか、ということをお話し合う必要があるということです。



大団円 ～校長室より～

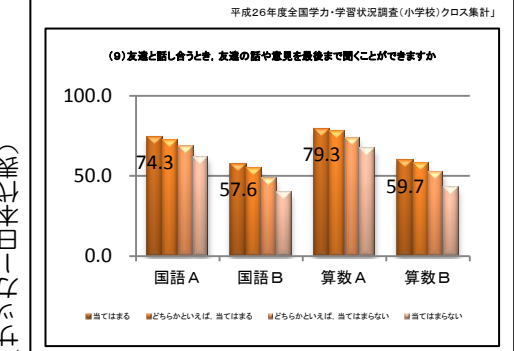
企業が求める人材は・・・人間力とコミュニケーション能力トによると、企業が求めるのは、『人間力』にあふれ、『コミュニケーション能力』に長けた人材だそうです。採用時に重視されるのが、「責任感」「協調性」「積極性」「チャレンジ精神」等であり、まとめると『人間関係をうまく築き、自分の仕事に前向きに取り組むことができる』人材が求められていると言えます。

また、長年、入試センター試験に携わった大学教授は、コミュニケーションの時代に必要なのは日本語力について、次のように述べています。
「現代はコミュニケーションなしに仕事や生活ができなくなっている。日本語の語彙力や表現力を高め、相手や状況に応じた言葉遣いをするのが不可欠である。」
私たちの日本語力は、言葉を使い始めてから毎日、読んだり話したり、聞いたり書いていっていきます。

そして、その頻度や練度が上げれば上がるほど「読む・書く・聞く・話す」能力は上達し、その逆の場合は？
ただ単に日本に住んでいるから日本語が上達するわけではないのです。
本年度の久玉小学校でも、日本語力やコミュニケーション能力が上達するよう、「読む・書く・聞く・話す」に少しこだわった一年間を過ごしているところなんです。

今日は本田校長先生が教員になって13329日目
そして、平成28年3月31日は13513日目

なるほど・ザ・家庭教育



全国学力・学習状況調査関係のデータをお示しすることは多いですが、今回は、家庭でも確認のしやすいものです。特に今の子どもは「聞いて、私の話」という傾向が高いと思います。しかし、むしろ話を聴ける子の方が学力が高いという話です。話をきちんと聴いてあげると、話をして話さないと聴かせましよう。

- ⑦わからないことを誰かに聞いて解決している割合が高い。
- ⑧問題が解けないときにあきらめずにいろいろな方法を考える割合が高い。
- ⑨国語の解答を文章で書く問題で最後まで書くよう努力する割合が高い。
- ⑩算数で公式やきまりを使う時、理由を説明しようとしている割合が高い。

いかがでしょうか？
紙面の都合上、今回は項目だけの表示になりました。家庭で気をつけた方がいいこと等は、エピソードで紹介いたします。ぜひ、家庭でも実践してください。

ホームページならカラーで見ることができます！
URLは、<http://es.higo.ed.jp/kutamaes/>